

迎  
春

石 鎚 社 報

発 行 所

〒793-8555  
愛媛県西条市西田甲797番地

石鎚神社・石鎚本教  
電話 (0897) 55-4044

1・2月号



道

お正月の前後はお酒を戴く機会が多い時期でもあります。古来、酒は百薬の長。適量なら愉快なひと時。血行も良く食欲も進み、その夜は熟睡、明日への活力にまさに薬効を上回る効果です。

「酒は心のウサを払う

玉ほうき」

とは言え、未だに正しい呑み過ぎてしまう反省の朝も、まま、ございます。

先人の戒めに、

先ズ、人、酒ヲ呑ム。

次ニ、酒、酒ヲ呑ム。

終ニ、酒、人ヲ呑ム。

酒は呑むべし

呑まれるべからず

酒の神、バツカスは、海の神、ポセイドンよりも、多くの人を溺れさせた。

以て自戒の言葉といたく存じます。皆さま、お健やかな一年でありますように。

武智。

皇紀二六八五年

令和七年

乙巳 きのと み 元旦

明けまして

おめでとうございます。

石鎚神社 第十六代 宮司

石鎚本教 第六代 管長

武智正人



謹んで皇室の弥栄と、  
日本国の安泰、

世界の平和を、

先達信徒の皆さまのお幸

せと子孫繁栄を、心から

お祈り申し上げます。

先達信徒の皆さま、新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。各地より御山を遙かに拝し、今年も一緒に歩んで参りましょう。石鎚の御山は白銀に輝き泰然と聳えて、私たちを見守っております。

初春は誰もが誕生日

初春を迎えると、誰もが皆、数え年で年齢を一つ重ねます。めでたく元気に新年を迎えることが出来た、無事に年を越すことが出来た、それを互いに喜び合う、誰もが誕生日です。

「新年、明けまして、おめでとうございます。」

十二月十三日は

「正月事始め」

「正月事始め」から、神棚と家の大掃除をして一年間を仕切り直し、生まれ変わるつもりでお正月を迎えま

しょう。迎える新年。初詣や正月の行事など、明るいが予定を伺いますと、明るい気持ちを戴きます。

今年こそは

人の世に争いは絶えないとしても、戦争という行為は止められるのではないか。何か方法が有るのではないか。私はそう思っています。

各地の戦争が一日も早く終わりますように。戦争と自然災害の被災地が一日も早く復旧復興し、今までの上の笑顔の土地になりますように。自然災害がもう起きませんように。

日々朝夕に祈って参ります。

土小屋遙拝殿

御鎮座五十周年 奉祝奉賛会

土小屋遙拝殿の御屋根の葺替工事に、全国からご奉賛の篤い御心をお預かり致しております。この誌面よ

り深く御礼を申し上げます。

工事は十一月下旬、冬季の為に一旦休止。来春に再開します。少し時間がかかっております事、深くお詫びを申し上げます。今後もお見守りください。さいますよう、謹んでお願いを申し上げます。

本年の皆さまのお幸せと子孫繁栄を心からお祈り申し上げます。今年もよろしくお願います。

宮司敬白。



謹んで初春のお慶びを  
申し上げます。

本社・本教 職員一同

名誉宮司・名誉管長

宮司・管長

権宮司・宗務局長

禰宜・宗務局次長

禰宜

筆頭権禰宜

土小屋遙拝殿主任

成就社主任

権禰宜

巫女

會計長

会館事務長

会館・山荘主任

宮繕

雇員

会館・山荘

山野井光太

宝利竜也 片川真宏 松木妙子 渡部由香 中矢庸代 野村綾奈 高橋季容 松下泉美 片岡直恵 西岡昌子 岩本政憲 高橋義一 人見健文 荒井正彦 伊藤義文 篠塚菜乃羽 瀧澤芳弘 田窪明路 片岡貴大 勝本洋輔 曾我部安胤 玉井浩司 山崎健 高岡雅史 十亀忠徳 大岡規人 佐々木規人 十亀博行 武智正人 十亀興美

石鎚神社・石鎚本教役員  
常務総代・本教理事

平岡照彦

湊信一

岡野和義

田窪一善

高橋亨

十亀貴文

藤原拓

高橋省一

伊藤一

加藤法泰

岡本嘉孝

山中將史

秋山一幸

入江伸明

藤本敏男

佐伯義明

小林敏朗

山本眞理子

坪内康治

山内孝文

出原真司

三吉和史

石田善久

西原和史

加藤善久

梶原法泰

梶原倫子

田島大悟

松岡大八

浦松大八

崇敬組合長・教区長

東予 西条・周桑

今治・越智

中予

上浮穴

南予

高知

安芸

東洋大心

備後

山口

福岡

大分

名誉顧問

神社・本教 参与

川西久美 中西幸男 吉田光宏 伊藤貞

下川栄市

澁谷正俊

渡邊博毅

眞木高毅

岡本行成

菅三十四

重見幸男

西原和男

永井久

岡中功

梶川吉彦

坂本登彦

岡本昇

河村英樹

村井宗幸

安岡桂一郎

江藤秀人

木村稔

平松史朗

浦松傳

榎並好美

日高智美

水口俊英

澁谷誠

横林誠

浦松強八

平松廣志

岩本剛

黒瀬貴久

田窪一善

入江仲明

羽藤繁雄

石鎚本教評議員

(西田自治会長)

宮司推薦総代・本教評議員

榎並好美

日高智美

水口俊英

澁谷誠

横林誠

浦松強八

平松廣志

岩本剛

黒瀬貴久

田窪一善

入江仲明

羽藤繁雄

豊友会

会長 勝本房利

副会長 三吉真司

川ノ上一博

石鎚本教 教会聯合会

会長 佐伯良子

副会長 湊喜美子

江藤秀人

深川健二

坪内和義 沖野一徳 横田徳 山中將史 三吉眞司 川西久美 加藤幸彦 西田保彦 井上喜美子 深川健二 山田春治 秋山信一 岡村桂一郎 安岡文成 森秀人 江藤和彦 田邊幸男 中西良子 佐伯節子 越智節子 木村汀祐 勝本房利

青年部

会長 村田和也

副会長 寺川卓彦

十亀慶彦

敬神婦人会

会長 岡本加代子

副会長 江藤ます子

平松京子

島本貴代

令和六年十二月一日現在  
順不同敬称略

# 教区長(崇敬組合長)名一覽表

令和6年12月1日付

組 合 名	組合が包括する区域	組 合 長 名	住所・郵便番号・電話番号
東 予	愛媛県の新居浜市以東 香川県・徳島県・兵庫県以東	藤本 敏男	徳島県美馬市脇町木ノ内3621 〒779-3620 TEL 0883-53-8954
西条周桑	愛媛県の 西条市	佐伯 義明	愛媛県西条市小松町妙口甲106-4 〒799-1104 TEL 0898-72-3954
今治越智	愛媛県の 今治市・越智郡	小林 敏朗	今治市玉川町小鴨部甲531-6 〒794-0112 TEL 0898-55-2725
中 予	愛媛県の 松山市・東温市	山本 真理子	東温市南方2124-38-305 〒791-0301 TEL 090-4505-7458
上 浮 穴	愛媛県の 上浮穴郡	坪 内 続	上浮穴郡久万高原町日野浦7030 〒791-1503 TEL 0892-56-0378
南 予	愛媛県の伊予市以西 南宇和郡まで	山内 康治	西予市宇和町卯之町4-410 〒797-0015 TEL 0894-62-5533
高 知	高知県全域	出原 孝文	香南市野市町西野370-3 〒781-5232 TEL 090-7144-8024
東洋大心	岡山県と 広島県東部の一部	石田 和史	岡山県井原市井原町1311 〒715-0019 TEL 0866-62-0141
備 後	広島県中部より東	西原 善久	広島県尾道市向島町16060-45 〒722-0073 TEL 0848-45-3556
安 芸	広島県中部より西	三吉 真司	大竹市玖波町203 〒739-0656 TEL 0827-57-5278
山 口	山口県・島根県・鳥取県	加藤 法泰	下関市吉見古宿町9-7 〒759-6521 TEL 083-286-5010
福 岡	佐賀県・長崎県・熊本県 鹿児島県・福岡県全域	梶原 倫子	北九州市門司区大里戸ノ上4-2-22 〒800-0024 TEL 093-372-1101
大 分	大分県・宮崎県	田島 大悟	佐伯市弥生大字井崎1897-2 〒876-0111 TEL 080-8378-6821

# 重要なお知らせ

令和6年12月1日より神符守札の一部初穂料改定を致しております。  
改訂がある神符守札は表を参照して下さい。

	御神札 御守	改定初穂料
1	導者札	2,000円
2	舟中札	1,500円
3	神社小守	300円
4	神楽守	500円
5	身代守	1,000円
6	身代守 小	1,000円
7	お守り袋	300円
8	安産守	1,000円
9	学業成就守	1,000円
10	合格守	1,000円
11	木札交通安全守	1,000円
12	錦交通安全守	1,000円
13	キーホルダー交通安全守	1,000円
14	ステッカー交通安全守	1,000円
15	瑞勝守	1,000円
16	災難厄除守	1,000円
17	縁結び守	1,000円
18	荒神札	800円
19	天てん	1,000円
20	天てんおみくじ	800円
21	開運小槌	1,000円

	朱印	改定初穂料
	朱印帳	2,000円

御神像	改定初穂料	講社割引
五寸	80,000円	60,000円
三寸	40,000円	30,000円

頂上社専用	頒布神札・御守	改定初穂料
1	頂上社 舟中札	1,500円
2	頂上社守	1,000円
3	頂上社木札交通安全守	1,000円
4	頂上社錦交通安全守	1,000円
5	頂上社キー交通安全守	1,000円
6	頂上社厄除守	1,000円
7	神縁人縁守	1,000円
8	天てんストラップ	1,000円

成就社	頒布神札・御守	改定初穂料
1	成就社守(大・小)	1,000円
2	八大龍王神札	800円

土小屋遙拝殿	頒布神札・御守	改定初穂料
1	土小屋守	1,000円

神棚	初穂料	改定初穂料
1	神棚(一社造)	17,000円
2	神棚(三社造)	30,000円

# 新春特別祈禱のご案内

石鎚神社では、新春特別祈禱を1月中、斎行いたします。

家内安全	商業繁栄	身体健康	当病平癒	交通安全	大 漁	海上安全
心願成就	諸災消除	事業繁栄	安 産	初宮詣	七五三詣	学業成就
入試合格	良縁成就	厄除延命	年賀命寿	就職成就	など諸祈願	

私たちは、日頃より天地自然の恵みの中で生かされ、豊かな意義のある生活を送っています。その中でもすれば、健康を害し、心の調和が乱れ、人間関係が円滑に行われず、日常生活に支障を生じる場合があります。新しい年を迎えるにあたり、災厄からのがれ、家内仲睦まじく健康に、諸願成就のご守護を願う特別祈禱をご案内いたします。

### ご祈禱初穂料

舟中・小木札：5,000 円以上  
大木札：10,000 円以上

(上記ご祈禱内容以外は、ご相談下さい。)

- ご祈禱はご本殿にてお申し込み順にご奉仕致します。
- ご祈禱の受付時間帯(平日、土曜、日曜、祭日とも) 午前9:00より午後3:30までにお越し下されれば幸いです。

## 新春特別祈禱 木札

例年、年の始めに一年の安泰・それぞれの願いを祈禱いたします新春特別祈禱、その祈禱木札の寸法・形状を、ご案内いたします。

- |       |           |
|-------|-----------|
|       | 祈禱初穂料     |
| ① 舟中札 | 5,000円 ~  |
| ② 小木札 | 5,000円 ~  |
| ③ 大木札 | 10,000円 ~ |
- 3種類の祈禱木札よりお選びください。

① 舟中札



24×7×0.7 (cm)

② 小木札



42×10×1.3 (cm)

③ 大木札



60×13×1.5 (cm)

# 二月一日・二日 神事案内

二月一日  
午前十時から  
月次祭・  
教会聯合会年賀厄除祭

午後五時から  
星祭り祈願納め宵宮祭

二月二日

午前十時三十分から  
古神札神納浄火祭

昨年までの古い神札を、浄火を以て焼き納めます。

午前十一時から  
星祭祈願納め祭  
併せ 節分祭

お申し込み頂きました方々の星祭特別神札を去る冬至の日(十二月二十一日)より神職が朝夕に祈願を続け、節分当日の祈願を以て満願となり、祭典終了後、お世話人各位へお渡し致します。(郵送希望の方は二月二日以降に届くこととなります。)

引き続き  
御神像拝戴神事  
厄祓い豆まき

福引き入り福豆授与  
招福うどん振る舞い  
(無料、数に限りあります)  
福引き交換、招福うどん振る舞いは十五時に終了致しますのでご注意ください。

愛媛プロレス石鎚山太郎  
愛媛マンドリンパイレーツの  
マッピー君がやってくる!



厄祓い豆まき



星祭祈願納め祭 併せ 節分祭



神納浄火祭

## ご報告 宮司社宅 完成



長らくの懸案であった宮司社宅が、築後約九十年の前宮司社宅を解体した跡地に建築された。

設計 内藤建築設計事務所  
施工 有限会社曾我工務店

建築案は平成十八年に決議されていたが、諸事情やコロナ禍により延期されてきた。神事や諸行事をコロナ前に戻す中、予てからの建築案も実行を、との声を戴き建築された。

今後長くに亘り歴代宮司が代々住まいする神社の財産の一つとして大切に使用させていただきます。文責、武智。

☆ご案内☆

第七十五回

石鎚本教所属教師講習会

三月七日(金)～三月九日(日)

第七十五回石鎚本教所属教師講習会を本年三月七日から九日の日程にて開催致します。

本年も昨年に引き続き第一部を実施致します。「先ずは、正坐が出来て足腰しっかりしている方を対象」。主たる講義内容は「基礎作法と神前奉仕の心得更に実践」です。また内容はその都度熟達度を鑑みて進めさせて頂きます。尚、希望されま

す方は、申し込み用紙の第一部の欄にお間違えなきよう記入してください。  
各組合・教会・遙拝所所属の将来を担う教師志願の皆様、今以上の研鑽をとお考えの教師の皆様、志ある多数の皆様にご参加いただきますようご案内致します。

受講規定

記

- 一、先達であること
- 一、教会所属の方は教会長の承認・推薦、遙拝所所属の方は遙拝所長および教区長の両名の承認・推薦、無所属の方は教区長の承認・推薦のある方

※(特別な事情がある場合は本社までお尋ねください)

一、禊行に参加の事

(行衣は各自持参)

一、終了奉告祭に祭員として奉仕の事(見学不可)

一、期間中の遅刻・早退・中座は認めません

日程

◎集合

・三月七日午前七時

(前日六日の宿泊は無料。)

※前泊は基本的に県外の方が対象です。

◎駐車場

・第一駐車場右手青い建物方へお願い致します。

◎受講料

・三万円

著衣・教本・昇進料等は別途

◎持参品

筆記用具・白衣・襦袢・帯・白袴・白足袋・草履・笏・印鑑・教本(祭式大成・教師必携)・禊行用禪(男性)・禊行用行衣(女性用)・着替え・洗面用具・ねまき(白い物)

※講習会前日の午後五時より当日の午後正午迄、京都の装束竹重さんが、会館二階にて装束の販売を致しております。ご利用の方はお尋ねください。

申し込み期限

◎二月十五日(厳守)

《教師志願初めての方について》

① 先達資格を有する事

② 講習受講者である事

③ 教会所属の方は教会長の承認・推薦(署名・捺印)。遙拝

所所属の方は遙拝所長および教区長(崇敬組合長) 両名の承認・推薦(署名・捺印)。無

所属の方は教区長(崇敬組合長) 承認・推薦(署名・捺印)のある方。 ※署名・捺印

無き申請書類は受理出来ません。

④ 本社の要請に応じられる事

⑤ 住民票と本籍地発行の身分証明書を準備の事

⑥ 無所属(当社・当本教の教会・遙拝所に所属無し)の方は、教師資格修得後一年以内に当社・当本教の教会・遙拝所に所属

することを必ず要する。

《教師昇進について》

① 講習会を受講の事

② 星祭り・大麻のお世話について願書に必ず記入の事

③ 教会・遙拝所への協力・奉仕のある方

④ 本社の要請に応じられる方

⑤ 右、規定に該当し、規約に定める年功に該当承認・推薦のある方

《祈祷免状について》

◎次のページをご参照ください。

※当社教会・遙拝所に所属の方のみ申請を受付致します。

※教師資格・祈祷免状取得者の中に、教師義務金の滞納、星祭り・大麻のお世話なき場合、規定年数を超えますと、教師資格・祈祷免状の取り消しを致します。

以上

ご不明な点、お問い合わせは、本社・曾我部洋輔までお尋ね下さい。



(終了奉告祭)



(講習会写真)

# 石鎚本教所属教師講習会 祈祷免許の申請について

石鎚本教所属教師講習会並びに祈祷免許申請の案内状は崇敬組合長・各教会・遙拝所宛に、十二月末発送。

## 【祈祷免許申請資格】

※当社教会・遙拝所に所属の方のみ申請を受付致します。

- ① 教師講習会五回以上受講、内、本社講習会を二回以上受講。
- ② 過去三年間、毎年神社大麻十体以上・星祭り祈願三十体以上の奉仕実績。
- ③ お山開き大祭に十名以上引率の先達奉仕のある者。
- ④ 教師階級は中講義以上。(中講義同時昇進申請可能)
- ⑤ 預かり賽銭のお世話人の実績。
- ⑥ 教会所属の者は教会長の・遙拝所所属の者は遙拝所長及び教区長の承認、推薦のある者。(特別な事情がある場合には、本社迄お問い合わせ下さい)
- ⑦ 将来、講社・遙拝所の組織結成・設立に志せる者。

『祈祷免許申請申し込み期限』  
令和七年一月二十日

## 『審査概要』

①『教師講習会開催迄の事前課題』(未提出者は失格)

※事前課題用の奉書紙はご自身でご準備下さい。

②『祭式審査』

③『面接』

☆事前課題の内容については、申請後に詳細を通知。

☆指定された各種課題・期限を始め、本社の指示に延滞の場合、申請資格を失います。

☆審査の流れは、事情により若干の変更の可能性有り。

以上

## 第75回本教所属教師講習会

令和7年3月7日～9日

	3月7日(金)	3月8日(土)	3月9日(日)
5-5:30			
6-6:30		起床	起床
7-7:30		禊行	禊行
8-8:30	集合・受付(7時～7時30分まで)	朝拝神事・記念撮影	朝拝神事(御神像拝戴)
8:30-8:45	開講奉告祭	清掃・朝食	清掃・朝食
9-9:45	開講式	行事作法 8時40分～11時55分	講話 8時45分～9時45分
10-10:45	神社・本教の概要 本教教師の心得		配列確認・習礼 10時00分～11時50分
11-11:45	作法講習(基礎作法)		
12-12:40	昼食・休憩	昼食・休憩	昼食・休憩
12:40-17:00	作法講習(基礎作法とその解説)	行事作法	装束装着 12時40分～13時15分
17:00-17:30	行事作法		終了奉告祭 13時20分～14時40分
17:30-18:00	神道作法		閉講式 14時40分～15時00分
18:00-18:30	夕拝	夕拝	解散 15時00分～ ※都合によりプログラム 変更の場合があります。
18:30-21:00	夕食	夕食	
21:00	入浴(20時50分まで)	入浴(20時50分まで)	※今回も、講習後の 本社の宿泊はございません。
	就寝	就寝	

### 講師紹介

石鎚神社宮司・石鎚本教管長 武智 正人 先生  
 石鎚神社権宮司・石鎚本教宗務局長 十亀 博行 先生  
 石鎚神社権禰宜 十亀 雅史 先生  
 石鎚神社豊友会 諸 先生

新たな「石鎚山の歌」が誕生しました!!  
**「四国霊峰 石鎚山」**



十二月から、カラオケ配信の「ジョイ・サウンド」に登録されています。謹んでご紹介いたします。 文責 武智

**四国霊峰 石鎚山**

四国霊峰 石鎚山  
 幾万年の 風雪耐えて  
 凜とそびえる 天狗岳  
 役の行者の ご開山  
 この世の闇を 打ち砕く  
 難行苦行 修行の山よ  
 はるか見えるは瀬戸の島なみ  
 ああ故郷の 石鎚の山よ

作詞 川井原 平  
 神鏡笏・元老大顧問  
 作曲 城川 二郎  
 編曲 加兎 きよむ  
 歌 愛 まゆみ

新たな「石鎚山の歌」が生まれました。

プロデュースと作詞は、原井川平 神鏡笏・元老大顧問。古くからの石鎚信仰者。大手術の際、不思議な夢見で目覚めて全快。爾来、石鎚大神様の御神徳に感謝し、尚も登拝を重ねる。

御山登拝五十回の感謝を込め、霊峰石鎚山を一人でも多くの方に知って戴きたい、その一心で歌詞を推敲。作曲家、編曲家を尋ねて歩き、歌手を求めて探し、完成をした次第です。

曙つつじ 鮮やかに  
 四国雄山 一望に  
 今も守りし 尊い教え  
 荒行苦行の先達が  
 日の本一の 大鎖  
 心引き締め 真言唱え  
 命預けて 山頂目指す  
 ああ故郷の 石鎚の山よ

秋風そよぐ ああ成就社  
 見渡す限り 錦秋の世界  
 霊気漂う 雲海千里  
 大天狗住むと 昔人が言う  
 遥拝殿で 見上げれば  
 雲間にそびえ 霊峰の雄姿  
 千の勇気を 与えてくれる  
 ああ故郷の 石鎚の山よ

**祈祷木札仕様変更のお知らせ**

石鎚神社で御祈祷を受けられた方にお渡ししている祈祷木札ですが、一部仕様が変更になりました。

令和七年二月一日より随時変更させていただきます。何卒宜しくお願い致します。

祈祷木札の水引部分が、金赤の二色でしたが、今般赤色一色の水引となり、結び方も変更しております。

尚、舟中札・尊者札は現状のまま変更ございません。

担当 権禰宜 勝本



# 第11回 お宮 de 文化祭

## 奉納 いしづち泣き相撲



片男波親方・大相撲力士が来社

令和7年5月6日(火)

【午前の部・9時から/午後の部・13時から】

石鎚神社～本社本殿 (受付:それぞれ30分前 本殿前参集殿)

※境内では10時から「お宮 de 文化祭」を開催しています。

参加資格～首がすわっている、生後6ヶ月くらいから  
2歳くらいまでの赤ちゃん (男児・女児は不問)

定 員～午前・午後、各100名の計200名。

参 加 料～10,000円

(健康祈禱・お守り・参加記念品 含む)



### 参加募集要項

参加申込書には後日詳細をお送り致します

- ★申込方法 参加申込書に記入の上、FAX・郵送もしくは石鎚神社へ持参下さい。
- ★申込開始日 2月15日(土)より
- ★申込締切日 3月15日(土)まで。 ※定員になり次第、締め切らせて頂きます。  
以降の申込は神社までお問い合わせ下さい。
- ★参加料の納入 赤ちゃん1人につき 10,000円を、当日受付にてお納め下さい。

(きりとり線)

参加申込書 (午前の部・午後の部) どちらかに○を。 希望に添えない場合もあります。

郵便番号			
住所			
保護者名	ふりがな:	電話番号	
お子様名	ふりがな:	男・女	誕生日 令和 年 月 日生 ( 歳 ヶ月) 3月15日現在
お子様名	ふりがな:	男・女	誕生日 令和 年 月 日生 ( 歳 ヶ月) 3月15日現在

主催：石鎚神社・NPO 法人 石鎚森の学校・いしづち泣き相撲実行委員会

お問い合わせ 石鎚神社内 「いしづち泣き相撲」係。 担当：十亀博行・曾我部洋輔  
TEL:0897-55-4044 FAX:0897-55-7242



第五十四回  
石鎚山三十六王子社  
巡拝報告  
令和六年十月二十四日～  
二十七日

さんじゅうろく おうじしゃ  
《三十六の王子社とは 大神様の神子神さま 三十六社》  
さんじゅうろくしゃ

王子社とは、石鎚大神様の御子神様の御社  
 霊峰石鎚山中の、三十六カ所にお祀りされている  
 古来、先達は三十六王子社を巡拝しつつ、御山に参詣した

石鎚本教会聯合会主催三十六王子巡拝行が、三泊四日の行程にて行われました。本年は総勢十一名にて巡拝致しました。全国各地より二四〇冊「祈願納め札」の総計二六一名のお申し込みを頂き、各王子社では皆様方の祈願札の読み上げをし、それぞれの王子社の納め箱に奉納致しました。大神様と御子神様のお導きを頂き、四日間の行程も天候に恵まれ、怪我無く、全行程恙なく巡拝行をさせて頂きました。皆様から寄せて頂きました「祈願納め札」は、各王子社の納め札箱に一年間奉納、またこの巡拝行にて、各王子社の祭事で読み上げました「祈願読み上げ札」は、本社本殿内に一年間お納めして御加護を賜ります。

今回の三十六王子巡拝行にて、ご協力・ご理解頂きました組合・教会・遙拝所・講社等の関係各位の諸先生方にこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。

併せまして本年も心温まるお接待をして頂きました、下関教会様・福岡神和教会様  
 ・吉田教会様・極楽寺様、誠に有難うございます。  
 本年「祈願納め札」を十冊以上お世話頂きました方々のお名前を掲載致します。

- ・熊本県 肥国合神遙拝所 日高智美
- ・愛媛県 豊田綾香
- ・愛媛県 吉田教会 越智汀祐
- ・広島県 村上純子
- ・広島県 広島西教会 初谷忠彦

(順不同・敬称略)

以上ご報告とさせて頂きます。

御初穂米 奉納  
連続五十五年

東洋大心崇敬組合  
広島県福山市

中津原 遥拝所

功労章 銀之笏 拝受

高原 政明 元老大顧問

大講義



奉納者 八五名  
御初穂米 一一〇袋

十一月四日

令和六年十一月四日(月)  
中津原遥拝所より遥拝所長高  
原政明元老大顧問を始め三十  
八名の皆様が奉納者を代表  
し、本年収穫した新穀を御奉  
納されました。

当日早朝より広島県福山市  
を出発され、本社本殿内へと  
信徒の皆様と神職職員にて搬

入りました。御奉納さ  
れた新穀の袋が積み上げら  
れた様はまさに圧巻であり  
ます。



その後、御神像拝戴神事  
の齋行に併せ、信徒の皆様  
のそれぞれの感謝と祈りを  
御祈念御奉仕させていただきました。

御奉納いただきました新穀  
は十二月一日に新穀感謝祭に  
お供えし、お山開き大祭を始  
め、春秋大祭、各行事に使わ  
せていただいております。長  
年にわたる御奉納にこの場を  
お借りしまして御礼申し上げ  
ますとともに、かわりある  
皆様方のご健勝とご多幸を祈  
念しつつご報告とさせていただきます。

以下、御奉納の皆様の御芳  
名を掲載いたします。

(順不同敬称略)

- |          |       |
|----------|-------|
| 山本 慎治    | 松井 憲司 |
| 高原 政明    | 池ノ内幸徳 |
| 岩佐 全純    | 大宮 正喜 |
| 川相 蓉子    | (株)SC |
| 小畠 満明    | 柴田千恵子 |
| 柴田 哲男    | 田頭 照正 |
| 高橋 和宏    | 多田 芳子 |
| 戸田 恒司    | 藤波 定実 |
| 西嶋 進     | 松井 大記 |
| 松井 千紘    | 安達 拓也 |
| 安達 稔     | 安達 直也 |
| アペックス(有) | 荒川 士郎 |
| 荒川 文字    | 荒川 弥生 |
| 池本 康年    | 浦部 由明 |
| 大塚 輝昭    | 大塚 元美 |
| 大塚 庸弘    | 岡原 史郎 |

- |         |         |
|---------|---------|
| 岡原 淑子   | 岡本富美夫   |
| 柏原 一郎   | 柏原 一夫   |
| 柏原 良紀   | 柏原 敏子   |
| 金尾 勇    | 金尾 美苗   |
| 金野 彰子   | 川相美代子   |
| 北村 昌子   | 北村 暢康   |
| 城戸 護    | 城戸留理子   |
| 倉本 美枝   | 桑田幾治郎   |
| 桑田 悦子   | 桑田 高志   |
| 栗田カヅ子   | 香西 綾子   |
| 香西 和子   | 坂中貴実子   |
| 坂本 健司   | 坂本 友宏   |
| 坂口 勝政   | 佐藤 秀治   |
| 佐藤 義定   | 柴田 光江   |
| 信野 徳三   | 園尾 裕    |
| 第二精油(株) | 高橋 豊子   |
| 高橋 義典   | 高原 輝人   |
| 高原 誠    | 土屋 隆宏   |
| 寺田 洋芳   | 戸田 有治   |
| 豊田 尚子   | 中山金網(株) |
| 福井 史菜   | 橋本 政人   |
| 橋本 敏子   | 花岡 豪    |
| 広瀬 満幸   | 藤波 光司   |
| 三木 靖加   | 三好 美寛   |
| 山本 孟男   | 小野田和子   |
| 小野田正弘   | 佐々木道裕   |
| 戸田 有治   |         |



福岡崇敬組合 令和六年度 定例総会開催

令和六年十一月二十三日



梶原倫子 組合長

元老・少教正

十一月とはいえ、まだまだ暑さが残る中、福岡は北九州の地において、福岡崇敬組合の総会が開催されました。

議案は、令和五年度の会計決算・監査報告がなされ、満場一致にて承認。その後、本年のお山開き大祭に関する先達会付の昇進状況や登拝者数や各種行事の報告が行われ、今後に向けた教勢拡充の意見交換が行われました。

また、成就神門・頂上社までの鎖道を含む約二間幅の登山道は石鎚神社の所有地となっており、登山道の修理は神社が主体に行っているが、

その事をもっと広く知ってもらうようにして欲しい。先達昇進の年数や年齢、下付物のあり方について現代に合う考え方を持ちつつも、必要性をもっと説明して欲しいなど、多岐に亘るご意見を頂きました。



今総会では、出席された信徒皆さんのお山に対する熱心な想いを感じる事ができました。来たるお山開き大祭に向けて、一人でも多くの皆さんを石鎚山へと導いて行く事ができるように共に邁進して参りましょう。

権宮司 十亀 博行

認定こども園 西山学園うめ組舞踊奉納  
奉納演目

西条の舞 「ISHI-ZUCHI」

令和六年十二月一日の月次祭・新穀感謝祭に併せ、西山学園うめ組「いしづちキッズ2024」の園児の皆さんに舞踊をご奉納頂きました。

平成二十二年に初代の園児が踊りを始め、代々引き継がれ、現在十五代目の園児達です。

石鎚の四季折々の情景を表現した楽曲と踊りを、園児の皆さんは「叫び、躍動し、折り、心一つ」にして踊ってくれました。

参拝の皆様も奉納を楽しくご覧にられました。



ご奉納、誠にありがとうございました。  
ございました。

記 本殿祭儀課



明けましておめでとうございます。  
旧年中は頂上山荘をご利用いただきありがとうございました。  
本年もよろしく願いいたします。

**予約受付開始**

**1月20日10時～**

(電話受付を優先します)

**※電話受付時間**

1月～4月：9時～16時

5月～10月：8時～19時

**営業期間**

**5月1日～11月3日**

(気象状況により変更する事が有ります。)

**予約・問合せ [石鎚神社頂上山荘]**

**☎080(1998)4591**

**1泊2食付き**

大人：13,000円(税込) 小学生：7,000円(税込)

会符割り：2,000円

### ◆宿泊について

◎宿泊人数1日限定25名とさせていただきます(完全予約制)

※6月28日～7月10日は予約不可

◎推奨ご持参品

- コップ
- ゴミ袋(売店で購入いただいた物含め、ゴミは全てお持ち帰りをお願いします)
- 必要に応じて体温計・インナーシートをお持ちください。

◎ご予約・現地受付

- 宿泊者全員の名簿提出

※37.5℃以上の熱がある場合や体調が悪い時はキャンセルをお願いします。

(キャンセル料は頂いておりません)。



上：ドリップタイプのでんてんコーヒー  
¥200

右：オリジナルサコッシュ

¥1000



# 石鎚神社会館 商品案内

石鎚神社会館では、オリジナルグッズやお菓子、お土産を多数販売中です。また、漬物・石鎚山麓で作られる石鎚黒茶、数珠なども多数取り扱っています。

中でもでんてんグッズは、オリジナル手ぬぐい・Tシャツ・ステッカー・マグカップなど、お子様から大人まで大好評頂いています。特に新商品のサコッシュはカラーも豊富で大人気です。

左：御塩入りの人気のせっけん、襦（みそぎ）と御神水で作ったハンドクリーム



左：和三盆のお菓子シリーズ。上品な甘さと可愛いデザインです。



施設内には御神水かふえを併設しており、一杯200円にて、御神水で入れたコーヒーを味わうことができますので、ぜひご休憩にいかがですか？

また石鎚神社会館は全国でもめずらしい宿泊施設となっており、ご旅行や八十八ヶ所巡りはもちろん、サークルや部活の合宿・企業研修などにもぴったります。

石鎚神社会館は、緑あふれる静謐な境内にあり、夏の大祭や節分祭、お正月などでは全国から多くの信者の方々や参拝者にご利用いただいています。

また、石鎚神社での挙式後の披露宴・会食なども受付けております。

詳しくは神社会館までお問い合わせ下さい。

☎ 0897-55-4168





# 石鎚森の学校活動報告

※石鎚森の学校<sup>2024</sup>森林保全  
活動in石鎚山成就地区

令和6年度愛媛県ニホンジカ対策  
策植生保全協議会エコツアー委  
託事業

【日 時】令和6年11月7日(木)

9時30分／受付・石鎚山ロー  
プウェイ下谷駅／14時20分／  
ロープウェイ下山・閉会式

【場 所】石鎚山成就地区

【主 催】愛媛県ニホンジカ  
対策植生保全協議会

【運 営】NPO 法人石鎚森の学校

【特別協力】石鎚神社

【講 師】曾我部英司 氏

(NPO 法人石鎚森の学校理事)

【参加者】スタッフ関係者含  
み11名

【事務局参加者】十亀雅史事  
務局長、岩本昌美・黒河由香  
両事務局スタッフ・藤原隆子  
サポートスタッフ

今回、恒例の成就地区森林  
保全活動に併せ、愛媛県ニホ  
ンジカ対策植生保全協議会主  
催によるシカの食害エコツ  
アー事業を行いました。

この協議会は本年4月に設  
立され、当法人は「人材育成・  
普及啓発部会」に所属し、本年  
年2回県内の登山道を散策し  
ながら動植物の観察やニホン  
ジカによる植生被害について  
学ぶエコツアーを実施するこ  
とが決まっております。第1回目  
は森林保全活動に併せての実  
施の運びとなりました。



当日は天気には恵まられま  
したが、昨年とは違い気温の低  
い中での活動となりました。



参加者の中には前日に西条  
市に來られ宿泊し、当日は朝  
から西の川を散策して受付さ  
れた方もいらつしやいました。  
ロープウェイ山頂成就駅内で  
開会式を行い、参加者全員に  
自己紹介をしてもらいました。  
県自然保護課からも4名來ら  
れ、石鎚山が初めてという方  
も。

まずは自然観察をしつつ登  
山道を進みました。リチャー  
ド講師が面白可笑しく自然や  
植物について話をし、参加者  
も和気藹々と大変雰囲気も良  
く、楽しい自然観察となつて

いましたが、その道中のリョ  
ウブの木には多くのシカの皮  
剥の跡がありました。夏の自  
然観察会の時には無かつたと  
ころまで被害が広がっており、  
早急の対策が必要だと参加者  
一同感じた次第です。



その後はお昼を過ぎていま  
したが、森林保全活動として、  
石鎚神社成就社境内にかつて  
植樹したヤマザクラ周辺の雑  
木や下草の小枝を払い、サク  
ラに陽が当たるように作業を  
行いました。その後昼食をと  
り、下山しました。

閉会式はドウダンツツジに  
囲まれてそれぞれ参加者は本  
日を振り返り、普段何気なく

山登りをしているなかで、これまでシカの被害が広がり迫っていること、山を護る、植物を護る為に何ができるか考えさせられました、と感想を頂きました。

第1回目のエコツアーは参加者が少数となりましたが、活動の主旨から考えると非常に良いものになったと感じました。

※石鎚山の学校 2024  
高縄山エコツアー

令和6年度愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会エコツアー委託事業

【日時】令和6年11月10日

(日) 午前10時/集合・高縄山広場駐車場/14時/高縄山

総合作業所・閉会式

【場所】高縄山(松山市)

【主催】愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会

【運営】NPO法人石鎚山の学校

【講師】松井 宏光 氏(愛媛植物研究会会長、NPO法人石鎚山の学校理事)

【参加者】スタッフ関係者含み23名

【事務局参加者】曾我部英司

理事、十亀雅史事務局長、岩本昌美・黒河由香両事務局

スタッフ・藤原隆子サポート

スタッフ



前回の成就地区森林保全活動に続き、第2回の愛媛県ニホンジカ対策植生保全協議会主催によるシカの食害エコツアー事業を松山市の高縄山で行いました。

愛媛に住んでいながら初めての高縄山登山。登山の楽しみと参加者が予定よりも多く集まり嬉しさが込み上げる中での開催となりました。

週間天気予報では雨予報となっていました。日が近づくにつれて予報は変わり、朝から良い天気になりました。今回は、小学2年生から年配の方まで老若男女様々な方にご参加いただきました。

開会式で今回の開催趣旨を説明し、参加者の自己紹介を行い、早速、高縄山の頂上展望台に向けて散策しつつ自然観察が始まりました。太陽の光で木の葉が照らされ色合いが更に美しくなり、目を楽しませてくれます。



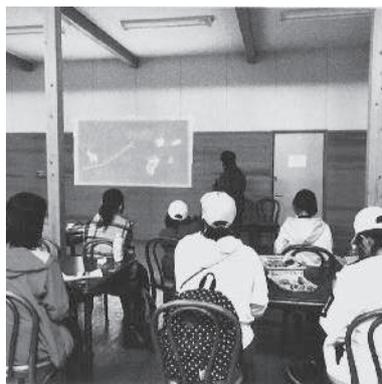
その登山道中、下草がシカに食べられ土が見えているところが広がり、松井講師からシカが食べる植物と食べない植物の違いなどの説明を所々でお話いただき、頂上展望台に到着。360度のパノラマの景色を楽しみ下山しました。下山途中には、スギの枝が上に伸びている千手スギや高縄寺

午後からは建物の中でシカクイズを行いました。シカの前歯が生えているのは、上だけ？下だけ？などシカについての知識を広げました。その



を見学し、一行は高縄山総合作業所へ移動。北条鯛めしのお弁当を頼りました。自然の中で食べるお弁当は格別です。

後は松井講師から愛媛県内のシカ被害の分布図や植生の保護方法などをお話いただき、防鹿ネット張りのボランティアの協力などもお願いしました。



そして遊歩道を散策しつつ自然観察、シカの痕跡などを確認し、総合作業所にて閉会式。参加者の感想はアンケートに記入してもらい、解散となりました。

外に出ると雨が降っていました。エコツアアの間は雨にもあたらず開催できたこと、本当に感謝です。

ご参加いただきましたみなさん、ありがとうございます。

文責 事務局長 十亀雅史



成就地区のリョウブの木・シカの樹皮剥ぎ被害の様子

# 御奉納

十月二十三日の土小屋遙拝殿のみみじ祭りにて『大幟旗』を新たに境内へ御奉納いただきました。

令和六年十月吉日

大分県大分市八幡大久保

清水 真智子

田村光章・由美

※二体奉納(敬称略)



御奉納誠にありがとうございました。  
大幟旗の御奉納は、本社・成就社・土小屋遙拝殿にて、一体二万五千円で受付けております。

担当 大岡禰宜

# お初穂奉納者

十月六日  
祖霊殿秋季例大祭・合祀祭

◎ 五十万円以上

香川県

柏 誠二 (敬称略)

五千円以上のお初穂奉納者につきましては、祖霊殿下の手水舎前に掲載させていただきます。

令和六年十月一日から

十一月末日まで

五十万円以上ご奉納いただきました皆様

《本社》

◎ 五十万円以上

ブラジル 海治マルシオ 早苗

◎ 十拾万円以上

佐川教会 片岡 抄織

(株)浦松興産 浦松 大八

◎ 五万円以上

別府市 森田 幸枝

(敬称略)

また、本社での五千円以上のお初穂奉納者につきましては、本社本殿前掲示板に掲載させていただきます。

# 頂上社護持奉賛会 寄付者 芳名簿

令和六年十月一日

令和六年十一月末日まで

※五十万円以上奉納者

◆西条周桑崇敬組合◆

五十万円以上

西条市 田中 松代 (敬称略)

奉賛会は今後も継続しておりますので、ご協力をお願いいたします。

文責 禰宜 大岡



# 石鎚神社 ホームページ QRコードについて

石鎚神社のホームページはスマートフォンなどにも対応しています。左記QRコードをスマートフォンQRコードリーダーなどで読み込みして頂きますとご覧頂けます。祭典や季節の情報などもアップして参りますので皆様も登録の程、よろしくお願ひ致します。



石鎚神社 HP  
QRコード

# 石 鎚 社 報

〒七九三一八五五五

(発行所) 西条市西田甲七九七

石鎚神社・石鎚本教

【連絡先】電話(〇八九七)

五五―四〇四四 本社

五五―七二四二 FAX

五五―四二六八 会館

五五―七二八一 FAX

五九―〇二〇六 成就

五九―〇四〇八 FAX

五三―〇〇〇八 土小屋

【振替】〇二六八〇〇―一八三六〇

【発行代表者】武智 正人

【編集】曾我部 洋輔

【印刷所】プリ・キュウ・プレス

【購読料】送料共 年五〇〇円

石鎚神社 で 検索